

畑を荒らす木彫りの神馬しんめ

真先稲荷の絵馬殿では、かつて左甚五郎作と伝わる木彫りの神馬を収蔵していた。その生き生きとした姿から、夜になると出歩いて近所の田畑を踏み荒らすと伝えられ、殿で内ないでは脚に太い鎖をつけて柱につないであったという。残念ながら戦災で焼失してしまった。



(歩いて学ぼう南千住検定より)